

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		污水管渠建設改良費						予算事業名		市制施行60周年記念事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	下水道法					
				02	01	07	65	経常経費							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業					
		2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理)													
		④生活排水の適正な処理						担当課係等		下水道課					
2公共下水道の整備促進						工務係									
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
都市の健全な発展と生活環境及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図る。								昭和40年国営鬼怒南部農業水利事業が決定されたことにより、それまで市街地の排水の大部分が周辺を流れる農業用水路に流入していたため、農林省や土地改良区関係者から排水の分離の声が高まり、公共下水道事業を開始した。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
・生活排水を適正処理するための污水管渠新設工事(四ツ京、逆井、栄町、下小塙外)								公共下水道(污水)事業認可区域内(1,013ha)の市民							
・下水道の普及促進(接続)を図るための污水桝新設工事															
【事業をとりまく環境の変化】								自治会管理の処理施設の老朽化により、下水道接続の要望が多いが、計画策定時に適切に検討している。							
【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】				【令和5年度 事業内容】							
・管渠新設(四ツ京、逆井、栄町、下小塙外)				・管渠新設(四ツ京、逆井、栄町、下小塙外)				・管渠新設(四ツ京、逆井、栄町、下小塙外)							
・污水桝設置工事				・污水桝設置工事				・污水桝設置工事							

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	25,711	30,000			
	県支出金	2,000	1,000			
	地方債	67,400	126,600			
	その他	6,304	16,777			
	一般財源	3,166	0			
歳入計(千円)		104,581	174,377			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	07 報償費	236	177			
	12 委託料	11,339	32,279			
	14 工事請負費	93,006	141,921			
歳出計(千円)(A)		104,581	174,377			
伸び率(%)			66.73			
備考	総合計画91ページ 予算書440ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	污水管渠整備済延長	km	目標	186.00	186.00	187.00
			実績	185.00	0.00	0.00
	公共下水道接続検査年間件数	件	目標	320.00	320.00	320.00
			実績	228.00	0.00	0.00
成果 指標	供用開始済面積	ha	目標	813.00	818.00	823.00
			実績	813.00	0.00	0.00
	結城市の人口に対する普及率	%	目標	53.40	55.70	56.20
			実績	55.20	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	都市の健全な発展と生活環境及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図るという重要な役割をもっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	下水道法第3条により、市町村が行うものと規定されている。
	手段の妥当性	A 妥当である	適切な工法を選択している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	関係各課と連携し、効率的な事業執行に努めている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	普及率は上がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画どおり、順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
・汚水に関わる下水道整備事業については、財政が厳しいため事業費の確保が難しく、整備が遅れることが見込まれるため、さらに効果的な事業執行を行う必要がある。 ・中期的なビジョンを基に、地域条件を考慮した綿密な計画を立て、面整備を図っていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
・事業実施箇所について、必要性・効率性を十分に検討し、設計段階では、工法・コスト等の検討を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 事業の必要性や効果を検討し実施箇所の選定を行うとともに、工法の検討や関係部署との調整を図ることにより事業費の縮減に努め、今後も事業を継続する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	